

2021年

安平町議会議長

牧田 弘満



新年を迎えるにあたり、町議会を代表いたしまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

北海道胆振東部地震から2年と4か月が経過しました。生活再建にたいへんなご苦労をされている方々におかれましては、震災による傷が癒えない状況の中で、新年をお迎えることとお察し申し上げます。

また、昨年から世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、地域経済にも大きな影響を与え、飲食・観光関連業や介護・医療機関など地域の事業所におかれましては、これまでにない大変厳しい状況の中、ご苦労をされていることと拝察してお

ります。特に医療従事者の皆様は、感染対策を講じながら最前線で患者さんの治療に尽力され、そして先の見えない緊張感の中で業務にあたられておりますことに心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

さて、震災以降、町民の皆様からさまざまなお声掛けをいただき、議会としましては一日も早い復旧・復興に向け対応して参りました。街並みに目を向けますと、道路や水道などの復旧とともに、新たな生活場所となる地域優良賃貸住宅やペットと生活するた

めの住宅、そして追分陽光苑についても過日完成し生活再建へと歩み始めるなど復旧・復興は確実に進んでいます。しかし一方では、被災した住宅の解体・撤去が進み倒壊などの危険性は回避されつつありますが、空き地が多く目立つ状況となっておりますので対策が急がれるところと認識しています。

昨年の安平町に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症によって、不要不急の外出自粛や分散登校、あびら

夏！うまかまつりの中止など、多くの経済活動が制限されイベントも中止となりまして、その中で、道の駅あびらD51ステーションでは、7月3日に来場者数が100万人を突破するという記念すべき偉業を成し遂げ、道の駅のランキングでも上位に食い込むなど道の駅関係者の努力の成果が現れました。

そして、11月のジャパングップでは、ノーザンファームで誕生したアーモンドアイが、史上初となる3冠馬3頭の直接対決を制し、ラストランで有終の美を飾り、暗い話題が多い年でしたが、明るい話題と元気をいただきました。

新年に目を向けますと今年の干支は丑です。先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われますが、今年には1年延期となった東京五輪が開催される年であり、3月からは聖火リレーが予定されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響が危惧されています。聖火リレーや東京五輪の開催に向け、一歩一歩着実に、経済

の回復と国民の感染対策という両輪のバランスをしっかりと保ち実行されることを切に願っております。

目に見えないウイルスとの戦いを含め災害対策は継続性が求められます。しかし、時が経過し新たな災害が発生すると、北海道胆振東部地震をはじめとする災害の記憶は少しずつ薄らいでいき、復興や対策に必要な国などからの支援が届かなくなることが危惧されますので、引き続き議会が一丸となって、今後の復興・発展のため、さまざまな分野で町民の皆様のご意見を拝聴し、町と連携し国・道へ要望するなど全精力を傾注する所存でありますので、今後

とも、町議会に対し一層のご指導とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。結びになりますが、本年が町民の皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

安平町農業委員会

職務代理 大井 信弘

委員 中道 幸夫

水橋 勉

谷口 龍治

梶原 和亀男

横澤 和子

阿部 修一

長澤 健次

嶋 敏樹

金川 幹夫

南 美彦

梅田 鋭敏

高田 弘幸

辻 信芳

安平町教育委員会

教育長 種田 直章

委員 古卿 誠幸

山根 弘文

山下 美樹

佐々木 望

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

議会議員 工藤 隆男

農業委員 山田 之博

大塚 武